

大学院

Graduate School



人文社会芸術 総合研究科

[修士課程]

人文社会芸術総合研究科は、人文・社会・芸術に関わる諸分野の視点から“人”と“地”の健康を実現します。

幅広い分野の基盤的能力を有し、人文、社会、芸

術に関わる諸分野についての高度な専門的学識、高い倫理観と豊かな創造力、領域を横断した複眼的視野を備えることにより、新たな価値、文化、社会を創ることができる人材を養成します。

総合医薬学研究科

[修士課程]

総合医薬学研究科は、医学、薬学及び看護学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する高度医療専門職業人又は教育研究者としての人材を育成することを目的としています。

医学・薬学・看護学分野における基盤的研究の深化とこれら分野間の連携・融合の更なる強化を図り、医学・薬学・看護分野の枠組みを超えて協同するため、医学・薬学・看護学分野を包括する総合医薬学専攻を1専攻として組織し、専門分野(医科学、看護学、薬科学)ごとに学位プログラムを設けます。

理工学研究科

[修士課程]

理工学研究科は、理工学及びその関連分野の学術的な理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識、卓越した能力、及び倫理観を培い、自然科学及び科学技術の発展に寄与することを目的としています。

この目的の下、高度専門職業人の養成を目指し、「豊かな学識、英語力、論理的思考力及び様々

な課題を多面的な視点で捉える俯瞰力を基盤とし、理工学分野における高度な専門知識と研究能力、高度の専門性を要する職業に必要な実践的能力及び研究倫理に関する規範意識を身に付け、新たな理工学の知を創造し、更なる価値を生み出し、社会が直面する課題に解決策を提示できる能力を備えた人材」を養成します。

持続可能社会 創成学環

[修士課程]

持続可能社会創成学環は、持続可能な社会の構築に必要な理工学及び社会科学の学際的な理論及び学際的な応用を教授研究し、その深奥を学び、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識、卓越した能力及び倫理観を培い、持続可能社会の構築に貢献する人材の育成を目的と

しています。

この目的の下、多岐にわたる複雑化した現代の課題を解決し、「持続可能な社会」を実現するために、「地域」と「地球規模」の両方の視点を持ち、高度な知識・技能を駆使して課題解決できる人材を育成します。



医薬理工学環

[修士課程]

医薬理工学環は、医学、薬学、理学及び工学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する専門職業人又は教育研究者としての人材を育成することを目的としています。

医学・薬学・理学・工学共通の大学院共通科目、医薬理工学環共通科目などを開設し、学際的な総

合力を育成します。また、融合型・分野横断的教育を目的として、分野を横断した他の研究室での実験・実習指導や他分野の教員を副指導教員とするシステムを導入します。融合型・分野横断的な教育／研究を実施することで学生並びに教員の分野を超えた交流が活発化し、その結果として、多様な環境に身を置くことで学生のモチベーションを高めることができると考えています。

教職実践開発研究科

[専門職学位課程]

教職実践開発研究科(教職大学院)は、高度な実践力・課題解決力を有する教員(スクールリーダー)を養成することで、富山県における教員養成全般に対する先導的・主導的役割を果たすため、富山大学と富山県教育委員会の強い連携・協働体制の下に設置されました。

本研究科は、学校教育全体を俯瞰する力を養い、富山県において特に必要とされる教育の方

法・指導技術に関する高い実践力を身に付けます。また、学校実習では現場でしか分からないことを経験することにより理論と実践の往還による実践力の涵養を確かなものとします。修了時には授業での学びや学校実習での体験を体系的に結び付け、自らの教育実践を省察するとともに、教育現場に還元する提案を行う教育を行います。

医薬・理工の各分野を連携した融合型大学院 ～生命融合科学教育部、医学薬学教育部、理工学教育部～

先端科学技術の急速な発達にともない、従来からある医学、薬学、理学、工学などの個別の分野だけでは対処できない様々な課題が増えました。これらに対処するためには、それぞれの学問分野を相互に連携させ、総合的な視野から複合的分野に取り組むことができる人材の

育成が求められています。

本学では、医学薬学教育部、理工学教育部及び医薬・理工を融合させた生命融合科学教育部が連携・共同して、知による豊かな社会の創成を目指した教育と研究を行っています。

生命融合科学教育部

[博士課程]

生命融合科学教育部では、脳神経系を中心とした生命システムの解明からヒトの健康維持・障害支援に関わる物質や機能材料及び情報・機械システムの開発までを視野に入れた先端的な知識と技術を教育し、これからの先端生命科学技術、高齢化福祉・高度医療、生命環境などの社会活動分野において、領域横断的に活躍できる人材を養成

することを目的としています。

医・薬・理・工という4つの大きな学系が生命科学に結集して教育にあたるのは我が国でも初の試みです。また、障害を持つ学生に開かれた大学院教育を目指し、障害者の視点と感性を導入・共有して新しいスタイルの教育・研究を展開します。

医学薬学教育部

[博士課程]

医学から薬学にわたる幅広い知識を基盤に、高い専門性と人間尊重の精神を基本とする人材育成が目標です。学術研究の進歩や社会に積極的に

貢献する特色ある研究教育を通じ、総合的な判断力を備える優れた人材育成を行っています。

理工学教育部

[博士課程]

理学及び工学分野の積極的融合により新たな学際領域、数理・ヒューマンシステム科学、ナノ新機能物質科学、新エネルギー科学及び地球生命環境科学の分野における科学・技術の高度化に対

応でき、独創的な研究能力を有する研究者や地域産業の中核的担い手となる高度技術者を育成しています。